

平成 24 年 1 月 30 日

帰宅困難者対策訓練における 安否確認や通信手段確保のツールの体験利用について

NTT 東日本は、平成 24 年 2 月 3 日(金)に東京都が実施する帰宅困難者対策訓練に合わせて、多くの方々に安否確認や通信手段確保のツールを体験利用していただくことを目的として、「災害用伝言ダイヤル(171)」及び「災害用ブロードバンド伝言板(web171)」の運用、特設公衆電話の設置、公衆無線 LAN エリアの開放を実施します。

災害等の発生によって通信手段が確保しにくい状況においても、家族、親戚、友人の方々とのスムーズな安否確認や、迅速な情報入手ができるよう、予め安否確認や通信手段確保のツールの利用方法を把握しておくことが重要です。今回の東京都が実施する帰宅困難者対策訓練が各ツールの利用方法を知っていただくための良い機会と捉え、体験利用の環境を提供させていただくことといたしました。

* 帰宅困難者対策訓練の詳細は東京都HP参照 <http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2012/01/20m1b400.htm>

1. 「災害用伝言ダイヤル(171)」及び「災害用ブロードバンド伝言板(web171)」の運用について

災害等の発生によって連絡がとりにくい場合、家族、親戚、友人などの安否情報をより確実に確認できる手段として提供、運用している「災害用伝言ダイヤル(171)」及び「災害用ブロードバンド伝言板(web171)」を、以下の通り運用します。

- (1)運用期間: 平成 24 年 2 月 2 日(木)0:00 ~ 2 月 5 日(日)23:30
- (2)キーとできる電話番号: 全国の市外局番から始まる電話番号
- (3)伝言録音・再生可能地域: 日本全国

* 詳細は【別紙1】参照

* 「災害用伝言ダイヤル(171)」はNTTコミュニケーションズが提供するサービスですが、実際の災害発生時には、災害の発生地域等に応じて、NTT東日本およびNTT西日本がそれぞれ運用します。

* 「災害用ブロードバンド伝言板(web171)」は、NTT東日本およびNTT西日本が提供・運用します。

2. 特設公衆電話の設置について

災害時など通信がつながりにくくなると想定される状況において、通信手段の確保のため、NTT東日本が設置する特設公衆電話の体験利用の環境を、以下の通り提供します。

- (1)提供日時: 平成 24 年 2 月 3 日(金)10:00~17:00
- (2)設置場所: 帰宅困難者対策訓練の会場周辺(東京駅周辺、新宿駅周辺、池袋駅周辺)

3. 公衆無線 LAN スポットの無料開放について

お手持ちのスマートフォン等 Wi-Fi 対応端末を利用してインターネットにアクセスし、「web171」による安否確認や、その他インターネット上のサービスを利用した情報収集を体験していただけるように、公衆無

線LANサービスを以下の通り無料開放します。

(1) 開放日時：平成 24 年 2 月 3 日(金) 10:00～17:00

(2) 開放エリア：東京駅、新宿駅、池袋駅を中心としたエリアで、現在NTT東日本の「フレッツ・スポット」をご利用可能な飲食店・商業施設等の一部(約 1,100 店舗)^{※1}

* 公衆無線LANサービスの開放は、各店舗施設およびエヌ・ティ・ティ・ブロードバンドプラットフォーム株式会社の協力のもと実施します。

(3) ご利用方法

- ① お持ちの Wi-Fi 対応端末の無線 LAN 接続手順に従って、SSID^{※2}「wifine」または「7SPOT」に接続ください。^{※3}
- ② ご利用の Wi-Fi 対応端末のブラウザを起動し、専用のページで「利用上の注意」をご確認・ご同意いただき、「利用する」をクリックください。
- ③ 「インターネットに接続されました」と表示されましたら、以降最大 30 分間のインターネット利用が可能です。

※1 セブン&アイグループの店舗では、「フレッツ・スポット」とセブン&アイグループが提供している「セブンスポット」を利用することができますが、今回は「セブンスポット」を開放します。

※2 無線の混信を防ぐためのグループ名です。端末によっては「ESS-ID」、「ネットワーク名」と表記されていることがあります。

※3 セブン&アイグループの店舗では「7SPOT」、それ以外の店舗、商業施設、駅等では「wifine」で無料インターネット接続することができます。

【別紙1】

(1) 171 運用時におけるご利用条件

	今回の体験利用	実際の災害発生時
1.伝言の登録・再生の際にキーとできる電話番号	全国の市外局番から始まる電話番号	被災地およびその周辺(都道府県単位)の市外局番から始まる電話番号
2.伝言蓄積数	10 伝言	※2
3.伝言保存期間	6 時間※1	
4.伝言録音時間	30 秒	同左
5.伝言録音・再生可能地域	全国から可能	録音は発災当初、被災地およびその周辺(都道府県単位)のエリアからのみ可能。その後、全国から録音可能。再生は全国から可能
6.利用が可能な電話、端末	一般電話、公衆電話、ひかり電話 携帯電話、PHS、他通信事業者の電話については、ご契約の通信事業者にご確認をお願いします。	一般電話、公衆電話、ひかり電話 携帯電話、PHS、他通信事業者の電話については、ご契約の通信事業者にご確認をお願いします。 *録音は発災当初、一般電話、公衆電話、ひかり電話のみ可能です。(全国から録音が可能となった時点で、携帯電話、PHS からも録音が可能となります)

* 発信されるお客様から被災地の「キーとする電話番号」までの伝言の録音、または再生にかかる通話料(通常、電話をおかけになる場合と同様の料金)が必要です。伝言蓄積等のセンター利用料は無料です。

※1 6 時間を超えなくても、「体験利用」終了で伝言は削除します。

※2 伝言蓄積数、伝言保存期間は、災害の状況により異なります。最新の情報はNTT東日本、西日本公式ホームページ等でご確認ください。

(2) web171 運用時におけるご利用条件

	項目	今回の体験利用	実際の災害発生時
安否情報の新規登録および追加登録	ご利用できる端末等	インターネットに接続ができるパソコン及び携帯電話等※3	同左
	伝言の登録・閲覧の際にキーとできる電話番号	全国の一般電話、IP電話(050の電話番号から始まるIP電話も含む)、携帯電話、PHS	被災地内等の全ての一般電話※4、IP電話(050の電話番号から始まるIP電話も含む)、携帯電話・PHS
	登録可能エリア	全国	同左
	伝言入力方法	テキスト入力 (1伝言あたり全角100文字以下)	同左
	添付可能ファイル * ()内は1ファイル 当たりの最大サイズ	wav形式の音声ファイル (1Mバイト以下)	同左
		jpg、jpeg形式の静止画ファイル (1Mバイト以下)	同左
		wmv、avi形式の動画ファイル (10Mバイト未満)	同左
	登録可能件数	新規登録:1件/1電話番号 追加登録:9件/1電話番号	※6
保存期間	6時間※5	※6	
安否情報の閲覧	ご利用できる端末等	インターネットに接続ができるパソコン及び携帯電話等※2	同左
	閲覧可能エリア	全国	同左

* 安否情報の登録、閲覧等に伴うサービス利用料は無料です。インターネット接続費用やプロバイダ利用料および、ダイヤルアップ接続の場合は通信料等が別途必要となります。

※3 機種によってはご利用いただけない場合があります。

※4 番号エリア設定は市外局番を単位とします。

※5 6時間を超えなくても、「体験利用」終了で伝言は削除します。

※6 伝言の登録可能件数、保存期間は、災害の状況により異なります。最新の情報はNTT東日本、西日本公式ホームページ等でご確認ください。